

《学校教育目標》社会とつながり、主体的に学び続け、未来を作る力を育みます。

令和6年4月11日



SAKAIJI JHS

境木中学校学校だより 2024th



横浜市立境木中学校

校長 阿部直美

〒244-0802 横浜市戸塚区平戸 3-48-2 TEL 045-822-8626 Fax 045-826-3826

1人ひとりに適した学びを

校長 阿部 直美



少し肌寒い春休みでしたが、そのおかげで、桜が満開の中、新年度がスタートしました。8日の朝には、久しぶりに体育館に集合した形で、着任式・始業式を行うことができ、2年生3年生は新しい友だちや先生と出会い、気持ちを新たにしています。また、午後には保護者のみなさまや、たくさんのご来賓のみなさまに見守られながらの入学式を執り行い、146名の1年生が入学しました。中学校への期待に胸膨らませた新入生の初々しい姿。キラキラとまぶしかったです。

新学期は子どもたちの心にも、やる気がみなぎっています。その前向きな気持ちを、更に膨らませて、育てていきたいものです。本校は、今年度も人権尊重の精神を基盤とした学校運営を更に進め、誰もが安心して学ぶことのできる学校作りを目指していきます。

今、横浜市では「1人ひとりを大切にしたい学びの推進」に力を入れており、本校でも、生徒一人ひとりに応じた学びができるよう、取り組みを始めています。

◎ユニバーサルデザイン

全ての生徒にとって分かりやすい授業となるよう、教室環境や指導方法のユニバーサルデザイン化に力を入れています。例えば、黒板に視線が集中するよう、教室前面には掲示物を貼らないようにし、チョークの色は白と黄色を主体として見えやすい板書を心掛けています。また、授業の始めに、この時間のめあてや授業の流れを説明し、見える化するなど、教科担任がそれぞれ工夫しています。教える側が「分かりやすい授業」を意識することで、授業が変わってきています。

◎チームティーチング

つまずきやすい数学に関しては、全学年でチームティーチングを行っています。教員が二人体制で教室に入ることで、1人ひとりに応じた、きめ細やかな指導をすることが目的です。

◎校内ハートフル（ステップアップ・ルーム）

事情があり、教室で学習することが難しい生徒を対象に、校内に学びの場を設けております。専任の支援員が常駐し、教員と連携して個々の状況に合った支援をしております。

◎どこでもスタディ（オンライン）

様々の事情で登校できない場合、自宅でオンライン授業に参加できる体制を整えております。

◎アットホームスタディ

様々の事情で登校できない場合、オンライン学習教材のアカウントを発行して、家庭での教育機会を確保し学習の定着を目指す取り組みです。

◎放課後学び場事業

地域学校協働活動本部のご協力で、放課後まなび場事業を横浜市に申請し、認定されました。これは、放課後の短時間、校内で学習できる部屋を設置するものです。準備が整い次第、お知らせいたします。

今年度も、1人ひとりに合った学びとなるよう、工夫を重ねてまいります。保護者のみなさま、地域のみなさまのご理解・ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

校長が3月に読んだ図書館の本

今年度も学校図書館の本を紹介してまいります。

★「リンさんの小さな子」 作：フィリップ・クローデル 訳：高橋 啓

みすず書房

それぞれの国で大切なものを失った二人が、言葉を超えて心を通わせる物語。

★「ジニのパズル」作：崔実（チェ・シル） 理不尽なことに正面から立ち向かう少女ジニ。

講談社

難易度など ★★読み応えあり ★読み易い ♡阿部のおすすめ